

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 中武 功見
副会長 多賀 学昭
幹事 岩本 正志

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2298回 令和6年5月30日日プログラム

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それどころロータリー | 9. 点 鐘 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『明るく居心地の良いクラブから、希望の種子を』
第2730地区ガバナー 池ノ上 克
中部グループガバナー補佐 長嶺 貴臣
RI会長テーマ
『世界に希望を生み出そう』
第2730地区テーマ 『平和を求め、希望あふれる、
明るいロータリーライフを進めよう』
5月の月間テーマ
青少年奉仕月間

本日の例会案内

- *長嶺貴臣ガバナー補佐挨拶
- *地区研修協議会報告
多賀君・児玉君・後藤君

次回例会案内 6月6日(第2299回)

- *月初めのセレモニー
- *RYLA 報告—佐野将司様
- *米山ランチBOX
- *雑誌紹介
- *夜間理事会

第2297回 例会内容 (5/23)

☆会長の時間

皆様お疲れ様です。本日も雨の中、高鍋ロータリークラブ例会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

本日は、お二人のゲストにお越しいただいております。まず、先ほどもご紹介いたしました、鍾 梓軒君です。

おとしの令和3年9月に宮崎大学を卒業したシャブリアンシャ君以来、2年ぶりに高鍋ロータリークラブが米山奨学生をお迎えすることができました。後ほど奨学金の授与式とコメントをいただく予定ですが、しっかり勉学を励むと同時に宮崎を堪能していただき、将来は宮崎(高鍋)とお国をつなぐ人材になっていただけるようお願い申し上げます。また、米山カウンセラーとして、ベテランの石田さんが担っていただきますので、併せてよろしく願いいたします。

そして、もうお一方のゲストが、本日外部卓話をしていただきます皆様もよくご存じの北川義男先生です。

私、まだ南九州大学が高鍋にあるところに、学生のアパート探しのお手伝いをしていました関係で、学生の知り

会長 中武 功見 君



合いが多くよく北川先生のお話をお伺いしていました。

また、石井十次の映画ができたころほぼ同時期に、道具小路ににっしん保育園と十次の家が完成したときにお会いしたことがありました。また北川先生は南九州大学名誉教授のほか、日本造園学会評議員はじめ、日本造園修景協会宮崎県支部顧問や宮崎市景観賞選考委員などを歴任され、我が高鍋町社会福祉協議会の評議員もお勤めいただいております。また、昨年度の4月9日に藤本ガバナー補佐が主催されました高鍋でのIM(インターシティミーティング)で、宮崎県男女共同参画センターの富山幸子所長の話聞かれて、「ジェンダー平等が社会を救う講演会 in たかなべ」実行委員会を主宰され、12月10日に高鍋町美術館で開催されました。このような北川先生ですから、後程の卓話は大変勉強になるものと思います。

皆様も楽しみにしていただければと思います。

さて、先週の夜間例会と米沢上杉ロータリークラブ歓迎会、本当にお疲れ様でした。また翌日はゴルフということで、ご参加いただいた皆様に重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。加藤富士夫会長以下12名のご来訪ということで、本年度小関様には一度お越しいただきましたが、昨年の米沢上杉ロータリークラブ60周年に訪問以来久しぶりに大勢で親睦を深め友情をさらに育むことができましたことに感謝申し上げます。わたくし未だに米沢の地に行ったことがありませんので、近いうちに必ず訪れたいと考えております。

さらに、日曜日には第2730地区の地区協議会ということで、鹿児島県霧島市に多賀会長エレクトははじめ多数の皆様朝早くから行っていただき、誠にありがとうございました。本来ですとわたくしも出席しなければならないところではありますが、あいにく社会福祉協議会関連の総会が重なってしまっており欠席させていただきました。

改めてお詫びを申し上げるとともに、霧島市往復のバス車中で皆様を楽しませていただいた甲斐副幹事に感謝を申し上げます。本当にお疲れ様でした。

ところで、いよいよ私がこの会長の時間を頂けるのが残り僅か、本日を加えてあと6回です。光陰矢のごとしと言われますが、本当にその通りだと身にしみて感じている所です。つい先日（と言っても、今年の7月なんですが）、この会長の時間の原稿作成のため何日も費やし、例会当日にはほぼ徹夜のような状態でお話をさせて頂いたのが、本当につい最近のような気がします。しかし、本年度の例会は47回あり、そのうち41回は終了しているということに、改めて驚いている次第です。本日はこれで終了いたしますので、実際の残りはあと5回ということになります。残りの回数を少しでも充実させるために、少し趣を変えてみようかなと今企んでおります。今、思いついた考えですので、どのようになるかはこれから1週間じっくりと練ってみたいと思います。何も変わらなかつたら、ごめんなさいということで、あらかじめお詫びしておきますので、その時はお許しを頂ければと思います。

それでは、本日もこの例会が、皆様方の入りて学ぶ機会になればと思います。

どうぞ最後までロータリーをお楽しみください。

☆幹事報告 ＜文書案内＞

幹事 岩本 正志 君



☆米山奨学生へ奨学金授与



中武会長より 鍾 梓軒 君へ

☆米山奨学生ごあいさつ

鍾 梓軒 君

こんにちは。初めましてショウシケンと申します。

宮崎大学農学工学総合研究科、石井教授研究室所属です。今は、この南九州地域での、アマランサスという新たな飼料作物の栽培と利用について研究しています。草食動物、主に牛の餌の日本国内の供給を改善することを目指しています。宜しくお願ひ致します。

今日のスピーチは、私の故郷の食事の事を紹介していきたいと思います。私は、中国南部の広東省出身です。

【食は広州にあり】と言われる広州は、広東省の省都です。中国全土の中でも、最も食べることに熱心な地域なのです。十月に入っても半袖で生活可能な亜熱帯気候で、果物のライチリュウガン（竜）が特産品です。

「鶏料理が無いと、宴席が成り立たない」という言葉がありまして、鶏料理と出汁で良く煮込んだお粥が、広東の食事生活を象徴する食べ物です。また、ガチョウ・ハト・子豚の丸焼きという食べ物の他、独特なワニ・ヘビの料理もあります。日本人が耳にしている「ヤムチャ・ワンタン」も、広東省の食事の一部になります。スパイスが少なく、食材の元々の味を求めているのは、広東料理の特徴です。なので、日本人の口に合うと言われていいます。もし、機会が有りましたら、是非、旅行に来てください。心より高鍋ロータリークラブの皆様が広東省に來られるのを期待申し上げます。

ありがとうございました。



米山奨学生カウンセラー
石田喜克君



外部卓話者の紹介
橋口清和君

☆外部卓話

北川 義男 様

高鍋町の「男女共同参画社会の推進キャンペーン」を活かしましよう

今、高鍋はチャンス このチャンスを活かしたいですね

男女共同参画社会の推進を活かした高鍋街づくりの提案

一人ひとりの幸せと持続可能な社会を目指します





葬儀のお礼
井上博功君



国際大会参加について
野添勝久君



次年度について
坂田師通君



ソングリーダー 川上君



ピアノ演奏 森さん



卓上の花



本日の食事

☆BOX披露 親睦活動委員長 岩切 一浩 君
＜ニコニコ・財団・米山BOX＞

【橋口清和君】北川先生をお迎えして。本日はよろしくお願ひ致します。25日からシンガポール国際大会に行かせていただきます。

【井上博功君】母の葬儀に際しては大変お世話になりました。有難うございました。

【石田喜克君】米山奨学生 鍾 梓軒さんが初めて例会に参加されました。来年3月まで毎月参加致しますので仲良くしてください。お願ひ致します。

【長谷川修身君】北川先生ようこそ高鍋RCへ。本日の卓話を楽しみにしています。また5月19日の地区研修協議会に参加した皆様ご苦勞様でした。

【藤本範行君】米山奨学生のショー君ようこそ高鍋RCへ。北川先生本日は卓話を楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひ致します。

【坂田師通君】地区研修協議会お疲れ様でした。北川先生ようこそ高鍋ロータリークラブへ。



☆出席報告 出席副委員長 後藤 正弘 君

出席状況 (5/23)

会 員 数	41名
出席会員数	28名
ホーム出席率	70.00%
前々回修正出席率	82.50%



「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。